



住みたいまち
誇れるまち
新しいせと

市長

4月21日に行われた瀬戸市長選挙の結果、伊藤保徳市長が再選しました。

「住みたいまち 誇れるまち 新しいせと」 を目指します

■ 2期目の市政へ

このたび、市民の皆さまのご信任を賜り、引き続き市政の重責を担わせていただくことになりました。改めて課された使命と責務の重さを痛感し、身の引き締まる思いです。これまでの1期4年間は、市長就任後、今後10年間のまちづくりの指針となる第6次瀬戸市総合計画を策定し、本市の将来像を「住みたいまち 誇れるまち 新しいせと」と定め、その実現に向け、さまざまな取り組みを進めてまいりました。

2期目となるこれからの4年間は、引き続き第6次瀬戸市総合計画で掲げた将来像の実現に向け、職員一同、精力的に取り組んでまいります。

具体的には、これからの瀬戸市のまちに、夢のある明るい未来を築きあげるために大切な「人づくり」に取り組んでまいります。未来を担う子どもたちが、健やかにたくましく育つ環境の整備に一層力を注ぎます。

今後の市政への想い

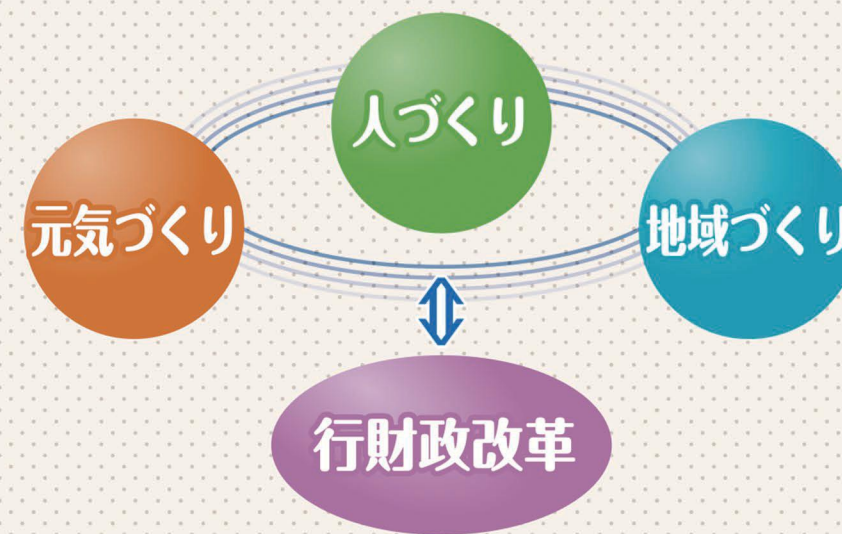
第6次瀬戸市総合計画を確実に実行することが重要であると考えています。特に、次の4つの分野において重点的な取り組みを推進します。

人づくり
元気づくり
地域づくり
行財政改革

4つの分野を施策の柱とし、
将来像
「住みたいまち
誇れるまち
新しいせと」
の実現を目指します。



本市の定住促進に向けたパンフレット「せとで暮らす。」



また、地域経済の活性化に引き続き取り組むべく、企業誘致を精力的に行うとともに、ものづくりの風土が根付く本市ならではの起業家育成や次世代産業にも支援などを行い、地域の企業活動の振興、雇用の創出につなげるための「元気づくり」に取り組めます。

さらに、防災をはじめ地域の防犯・防火対策など、地域と行政がしっかり連携し協働しながら「安全・安心なまち 瀬戸市」の実現など、「地域づくり」にも取り組んでまいります。

そしてこれらの取り組みを着実に推進し、本市の魅力を生内外に発信するなど積極的なシティプロモーションにより、定住促進につなげていきたいと考えております。

市民の皆さまから寄せられた期待にお応えするためにも、これまでの4年間の取り組みを礎として、誠心誠意、努力してまいりますので、市民の皆さまにおかれましては、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

瀬戸市長 伊藤保徳